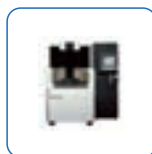


第71期

中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第71期中間期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の事業概況につき、中間報告書を作成いたしましたので、次のとおりご報告申し上げます。

なにとぞ株主の皆様のご支援をお願い申し上げます。

平成21年11月

取締役社長 **牧野二郎**

当中間期の経営成績

世界経済は、回復傾向にあるアジアをはじめとして、下げ止まっているとの見方が有力であります。国内では、自動車・家電関連産業などで、在庫調整が進んでいるものの、依然として生産設備の過剰感は解消されていないと報じられております。このこともあって（社）日本工作機械工業会の2009年4-9月受注累計額は、対前年同期比73.3%減の1,969億円となりました。

当社単体の受注は、対前年同期比76.1%減の91億95百万円と低迷を続けています。これは最大の市場である自動車産業の不調が大きく反映しております。その裾野産業である部品メーカーや金型メーカーへの発注が激減し、設備稼働率が落ち込んだ結果、増産目的の設備投資が中止または延期されたことに起因しています。

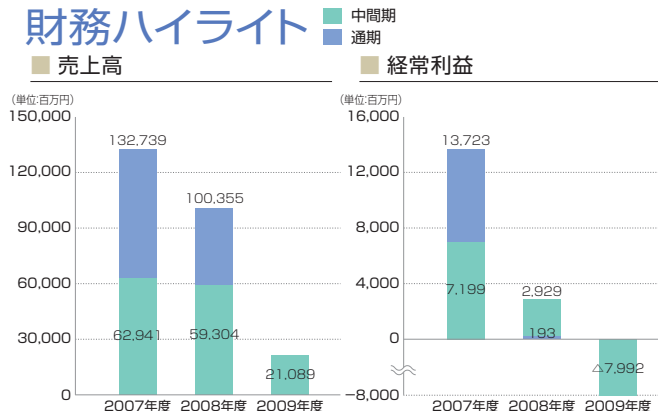
自動車産業は、低燃費の小型車やエコカーを中心に徐々に回復していますが、本格的な量産体制には至っておりません。この不況の経験から、生産現場では変種変量生産に対応するため、初期投資の軽減と加工対象物の変更に対応できる機械設備を求めています。このため汎用マシニングセンタをコアマシンとした柔軟な生産方式の需要がこれから高まると考えております。

当社グループのマキノジェイが研究開発を進める、汎用機でありながら専用機と同等の加工能力を有している「構形マシニングセンタJシリーズ」が注目されています。シリンダブロックの加工では、従来は専用機が必要とされたホーニングやラインボーリングの工程をスマートツール(専用工具)の開発により可能にしました。またクランクシャフト部品も付属ユニットの装着だけで加工可能です。ターンキーエンジニアリングと伴に今後本格化するであろう自動車のフレキシブル

目次

| | |
|------------------|----|
| 株主の皆様へ | 1 |
| 連結財務諸表 | 3 |
| 主な海外拠点及び地域別売上高推移 | 5 |
| トピックス、会社の概要 | 7 |
| 当社製品及び機種別売上高推移 | 9 |
| 株式の状況、株主メモ | 10 |

財務ハイライト



な量産加工ラインの需要を見込んでおります。

航空機市場では、当社としては最大機となる「5軸制御マシニングセンタMAG/A7」を欧州に向け出荷しました。顧客の現有設備に対して、アルミ合金部品の生産性を大幅に改善することが期待されています。一方、燃費効率の改善を目的として機体構造部品には、軽くて強いチタン合金の使用量が増加しています。難削材であるチタン合金の効率的加工に向けて、大型チタン合金加工用の「5軸制御マシニングセンタMAG/T4」に加え、新たに中型の「MAG/T2」を発売しました。

航空機メーカーが開発している新型機の量産に向けた設備投資、そして新興国の需要拡大を見込んでおります。この工作機械需要は、まず海外から動き出し、国内はそれからと考えています。

当社がもっとも得意とする金型市場は、特に国内においては停滞から脱却するに至っておりません。一方、金型の高精度化や短納期化の動きから、工程削減や自動化の要求が工作機械に高まっています。このような需要に対応したベストセラー機種である「立形マシニングセンタVシリーズ」を中心に先駆的な製品を幅広く展開してまいります。

Vシリーズの他には、微細化が進むLED照明・携帯電話・医療機器向けに「微細 精密加工機 iQ300」を開発しました。精密金属プレス分野向けには、「超硬加工用ワイヤ放電加工機UPV-3・UPV-5」を発表し、携帯電話など小型精密コネクタのプレス金型やハイブリッド自動車用モータコアのプレス金型に対応します。

以上の結果、当中間期における連結売上高は210億89百万円（対前年同期比64.4%減）、連結営業損失77億26百万円（前年同期は29億17百万円の連結営業利益）、連結経常損失

79億92百万円（前年同期は29億29百万円の連結経常利益）、連結中間純損失75億64百万円（前年同期は16億93百万円の連結中間純利益）となりました。

地域別の状況は以下のとおりです。

アジア市場においては、中国やインドで内需向け自動車・建機・農機関連産業の設備で高い需要がありました。特に、中国では急速な生産能力拡大の動きがあり、ターンキーエンジニアリングを伴った量産ラインの引合いが増えています。競合状況が大変厳しくなっていますが、受注は3四半期連続で増加しています。

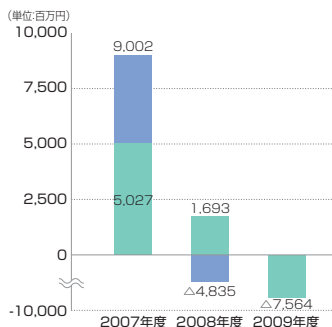
ヨーロッパ市場の受注は低迷していますが、夏以降引合いが増えてきており、回復の兆しが見えてきました。

アメリカ市場は、前年度第4四半期まで他地域より堅調に推移しましたが、年初のころから月を追うごとに悪化してまいりました。しかし9月は引合いや受注が増加しております。

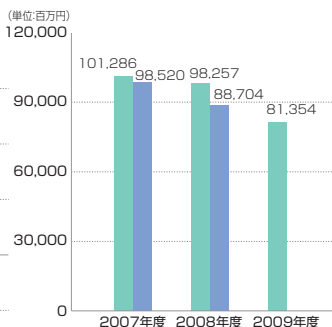
回復の遅れる日本市場にあって、当社の重要な顧客である金型製造業は、耐久消費財の組立部門が海外移転を進めるに伴い、厳しい国際競争にさらされております。世界規模では金型の需要が拡大に向うなか、国内金型メーカーによる連携、異業種への参入、海外進出など新しい展開が始まっています。当社は、この期待に応えるべく、新製品の開発と顧客サポートに努めてまいります。

中間配当につきましては、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。

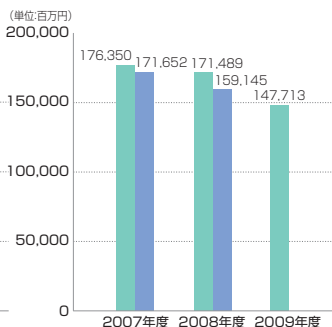
■ 中間(当期)純利益



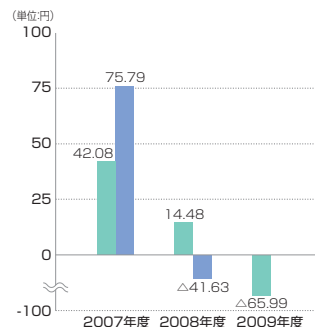
■ 純資産



■ 総資産



■ 1株当たり中間(当期)純利益



□ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

| 科 目 | 当中間連結会計期間末 平成21年9月30日 | 前中間連結会計期間末 平成20年9月30日 | 前連結会計年度末 平成21年3月31日 |
|------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| (資産の部) | | | |
| 流動資産 | 92,501 | 114,043 | 103,454 |
| 現金及び預金 | 44,163 | 27,351 | 39,235 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,040 | 37,506 | 24,529 |
| 有価証券 | 2,066 | 2,346 | 2,160 |
| たな卸資産 | 30,828 | 40,439 | 34,365 |
| 繰延税金資産 | 628 | 3,402 | 828 |
| その他の流動資産 | 1,955 | 3,361 | 3,414 |
| 貸倒引当金 | △1,182 | △366 | △1,079 |
| 固定資産 | 55,211 | 57,446 | 55,691 |
| 有形固定資産 | 38,755 | 40,489 | 40,014 |
| 建物及び構築物 | 21,708 | 23,491 | 22,462 |
| 機械装置及び運搬具 | 3,331 | 3,637 | 3,572 |
| 工具器具備品 | 2,043 | 3,036 | 2,558 |
| 土地 | 9,610 | 9,552 | 9,628 |
| リース資産 | 1,664 | — | 1,563 |
| 建設仮勘定 | 396 | 770 | 228 |
| 無形固定資産 | 958 | 877 | 937 |
| のれん | 58 | 98 | 78 |
| その他の無形固定資産 | 899 | 779 | 859 |
| 投資その他の資産 | 15,497 | 16,079 | 14,738 |
| 投資有価証券 | 8,650 | 9,750 | 7,261 |
| 長期貸付金 | 452 | 536 | 493 |
| 繰延税金資産 | 1,479 | 664 | 1,231 |
| その他の投資 | 5,197 | 5,303 | 6,018 |
| 貸倒引当金 | △281 | △50 | △266 |
| 投資損失引当金 | — | △126 | — |
| 資産合計 | 147,713 | 171,489 | 159,145 |

| 科 目 | 当中間連結会計期間末 平成21年9月30日 | 前中間連結会計期間末 平成20年9月30日 | 前連結会計年度末 平成21年3月31日 |
|---------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| (負債の部) | | | |
| 流動負債 | 33,774 | 42,546 | 24,143 |
| 支払手形及び買掛金 | 4,257 | 20,200 | 11,063 |
| 短期借入金 | 6,841 | 6,244 | 4,752 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | — | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 4,554 | 2,386 | 611 |
| リース債務 | 310 | — | 247 |
| 未払法人税等 | 633 | 1,722 | 603 |
| その他の流動負債 | 7,176 | 11,992 | 6,865 |
| 固定負債 | 32,585 | 30,686 | 46,297 |
| 社債 | 10,000 | 20,000 | 20,000 |
| 長期借入金 | 15,066 | 4,620 | 19,314 |
| リース債務 | 1,956 | — | 1,905 |
| 繰延税金負債 | 3,254 | 2,713 | 2,699 |
| 退職給付引当金 | 543 | 1,570 | 642 |
| 役員退職慰労引当金 | 271 | 1,264 | 1,309 |
| その他の固定負債 | 1,492 | 516 | 424 |
| 負債合計 | 66,359 | 73,232 | 70,440 |
| (純資産の部) | | | |
| 株主資本 | 83,974 | 95,549 | 91,550 |
| 資本金 | 19,263 | 19,263 | 19,263 |
| 資本剰余金 | 32,595 | 32,595 | 32,595 |
| 利益剰余金 | 34,881 | 45,951 | 42,455 |
| 自己株式 | △2,765 | △2,260 | △2,764 |
| 評価・換算差額等 | △3,909 | △96 | △4,094 |
| その他有価証券評価差額金 | 2,531 | 3,167 | 1,692 |
| 為替換算調整勘定 | △6,440 | △3,263 | △5,786 |
| 少数株主持分 | 1,289 | 2,804 | 1,249 |
| 純資産合計 | 81,354 | 98,257 | 88,704 |
| 負債純資産合計 | 147,713 | 171,489 | 159,145 |

□ 中間連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

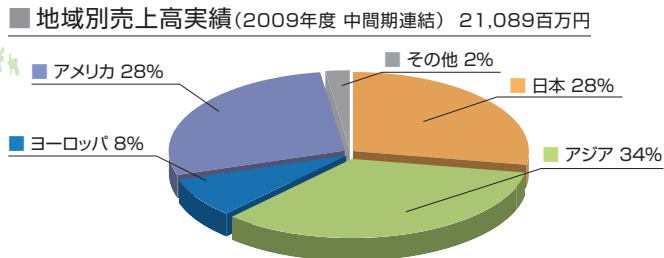
| 科 目 | 当中間連結会計期間 自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日 | 前中間連結会計期間 自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日 |
|---------------------|---|---|
| 売 上 高 | 21,089 | 59,304 |
| 売 上 原 価 | 19,861 | 41,386 |
| 売 上 総 利 益 | 1,228 | 17,917 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,954 | 14,999 |
| 営業利益又は損失(△) | △ 7,726 | 2,917 |
| 営 業 外 収 益 | 649 | 760 |
| 受取利息及び配当金 | 115 | 186 |
| 為 替 差 益 | — | 279 |
| 助 成 金 収 入 | 207 | — |
| そ の 他 の 収 益 | 326 | 294 |
| 営 業 外 費 用 | 915 | 748 |
| 支 払 利 息 | 435 | 241 |
| 為 替 差 損 | 414 | — |
| そ の 他 の 費 用 | 65 | 506 |
| 経常利益又は損失(△) | △ 7,992 | 2,929 |
| 特 別 利 益 | 28 | 30 |
| 固定資産売却益 | 28 | 12 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 17 |
| 特 別 損 失 | — | 46 |
| 固定資産除却損 | — | 43 |
| 投資有価証券評価損 | — | 3 |
| 税金等調整前中間純利益又は純損失(△) | △ 7,964 | 2,912 |
| 法 人 税 等 | △ 348 | 1,089 |
| 少数株主利益又は損失(△) | △ 50 | 130 |
| 中間純利益又は純損失(△) | △ 7,564 | 1,693 |

□ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

| 科 目 | 当中間連結会計期間 自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日 | 前中間連結会計期間 自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日 |
|---------------------------|---|---|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 3,309 | △ 67 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 1,147 | △ 5,763 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | 1,985 | 9,221 |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | 61 | 17 |
| 現金及び現金同等物の 増 加 額 | 4,209 | 3,408 |
| 現金及び現金同等物の 期 首 残 高 | 39,978 | 25,621 |
| 現金及び現金同等物の 中 間 期 末 残 高 | 44,188 | 29,029 |

主な海外拠点及び地域別売上高推移



MAKINO INC. (アメリカ・メイソン)



メキシコテクニカルセンタ (2010年1月開所予定)

テクニカルセンタ

販売、サービス、機械展示、アプリケーションサポートの各機能を持つ拠点です。

ヨーロッパにはドイツ、フランス、イタリア、スロバキア、トルコ、北米にはアメリカ、カナダにあります。中米にはメキシコに来年1月開所予定です。

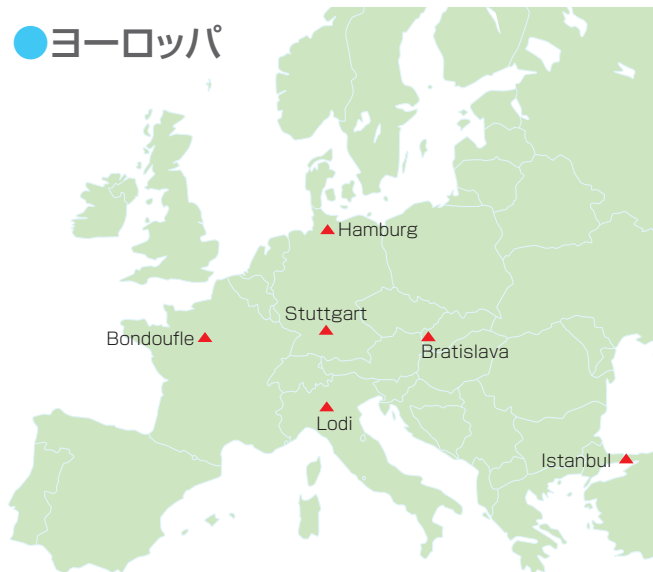
営業所

販売、サービスの機能を持つ拠点です。

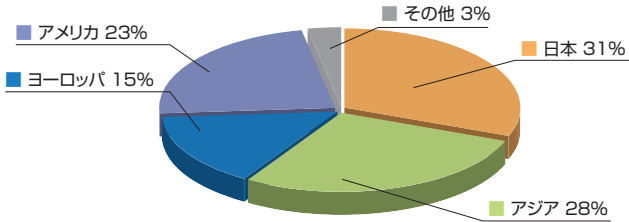


MAKINO Europe GmbH (ドイツ・ハンブルク)

●ヨーロッパ



■ 地域別売上高実績(2008年度 中間期連結) 59,304百万円



- ★ 工場／テクニカルセンタ
- ▲ テクニカルセンタ
- 営業、サービス拠点

● アジア

テクニカルセンタは、アジアにはシンガポール、中国、インド、タイにあります。



MAKINO ASIA PTE LTD (シンガポール)



〈新製品〉

拡大する微細精密加工分野に対応

LED照明・携帯電話・医療機器などの部品は小型化・精密化が推進されており。従来の微細精密加工は、研究目的が多く高価な専用機を使用するケースがほとんどでした。しかし量産化に伴い、汎用性に優れかつ長時間安定して加工できる工作機械が求められております。微細精密加工機iQ300の開発は、この新規需要層を獲得するものです。



微細精密加工機iQ300

精密金属プレス金型市場の開拓

精密金属プレスの分野で拡大している超硬材の高精度加工に対応する、「超硬加工用ワイヤ放電加工機UPV-3・UPV-5」を投入しました。

携帯電話用小型精密コネクタのプレス金型、ハイブリッド自動車用モータコアのプレス金型などで、表面あらさ精度 $1\mu\text{m}$ 以下を要求する顧客層から多くの注目を集めています。



超硬加工用ワイヤ放電加工機UPV-3

〈受賞〉

第39回 機械工業デザイン賞 審査委員会特別賞受賞 立形マシニングセンタ FB127

加工精度を阻害する要因を一つひとつ丹念に克服し、ジグ研削盤やワイヤ放電加工機に匹敵する高精度加工を高く評価されました。



第29回 精密工学会技術賞受賞 超高精度ワイヤ放電加工機 UPN-01

最良表面あらさは世界最良 $0.17\mu\text{mRz}$ 、加工精度 $\pm 0.5\mu\text{m}$ が評価されました。



〈トピック〉

工作機械がプラモデルに

マキノの立形マシニングセンタV33iが1/20縮尺のプラモデルになりました。

機械の内部構造も含めて詳細に再現され、接着剤不要で組み立てが可能。なおかつ塗装せずともその雰囲気充分に味わえる内容となっています。

制作元は(有)ファインモールド（豊橋）、SF映画「スター・ウォーズ」の宇宙戦闘機などを次々と模型化するプラモデルメーカーです。

購入はファインモールドホームページから
<http://www.finemolds.co.jp/>



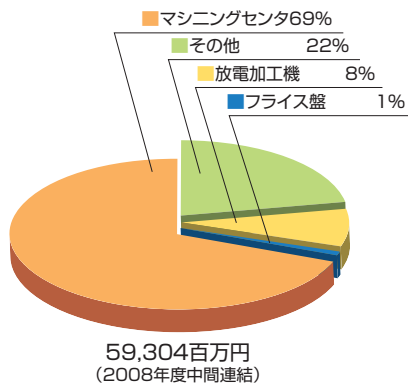
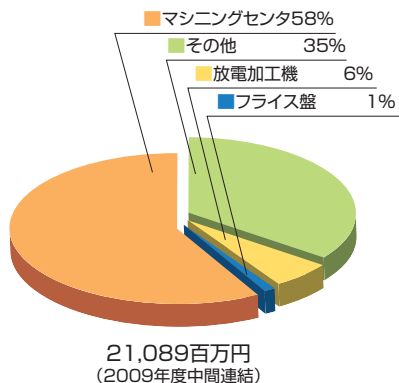
会社の概要 (2009年9月30日現在)

- 社 名 株式会社 牧野フライス製作所
- 英 文 社 名 Makino Milling Machine Co., Ltd.
- 所 在 地 〒152-8578 東京都目黒区中根 2丁目3番19号 電話 03(3717)1151(代表)
- 創 業 1937年5月
- 資 本 金 19,263百万円
- 従 業 員 1,328名(単体) 3,741名(連結)
- ホームページアドレス <http://www.makino.co.jp/>
- 主要な事業内容 工作機械（マシニングセンタ、NC放電加工機、NCフライス盤、フライス盤、FMS、CAD/CAM等）の製造・販売及び修理
- 取締役及び監査役
 - ※ 取締役社長 牧野 二郎
 - ※ 専務取締役 牧野 駿
 - ※ 常務取締役 細島 英一
 - 取 締 役 箕沢 武夫
 - 取 締 役 香村 章夫
 - 取 締 役 饗場 達明
 - 取 締 役 鈴木 信吾
 - 取 締 役 鈴木 泰幸
 - 取 締 役 田村 敏之
 - 取 締 役 永野 敏之
 - 常 勤 監 査 役 福井 英次
 - 監 査 役 尾澤 弘久
 - 監 査 役 鈴木 宏一

※印は代表取締役です。

当社製品及び機種別売上高推移

機種別売上高推移



マシニングセンタ

マシニングセンタは工作機械の1つで、工具を自動で選択・交換ができ、穴あけや面削り等複数の加工を1台でこなします。工具を取り付け回転させる主轴が垂直位置の立形マシニングセンタと水平位置の横形マシニングセンタがあります。



当社の立形マシニングセンタは主に金型の加工に使われています。

当社の横形マシニングセンタは自動車、航空機、建設機械、エネルギー関連及び半導体製造装置などの産業で使用する部品の加工に幅広く使われています。

放電加工機

放電加工機は電気による放電エネルギーを利用して加工を行う機械です。形彫放電加工機とワイヤ放電加工機があります。



ワイヤ放電加工機は主に自動車、IT製品、電気製品、半導体などの精密プレス金型の加工や医療機器などの精密部品の加工に使われています。

形彫放電加工機は主に自動車、IT製品、電気製品及び半導体などのプラスチック金型やダイカスト金型の加工に使われています。

フライス盤

工具を回転させ平面、曲面、溝などを手で加工する機械です。



株式の状況、株主メモ

株式の状況 (2009年9月30日現在)

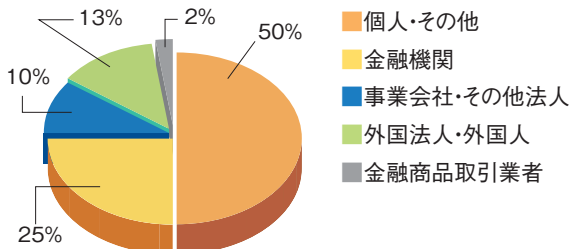
- 発行済株式総数 119,944,543株
- 株主数 15,259名
- 大株主(上位10名)

| 株主名 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数の割合 (%) |
|--|---------------|--------------------------------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 7,867 | 6.56 |
| 財団法人工作機械技術振興財団 | 4,469 | 3.73 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 4,370 | 3.64 |
| 牧野二郎 | 2,476 | 2.06 |
| モルガンスタンレーアンドカンパニーインク (常任代理人 モルガン・スタンレー証券株式会社) | 2,381 | 1.99 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 2,180 | 1.82 |
| 日本興亜損害保険株式会社 | 2,135 | 1.78 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 2,020 | 1.68 |
| 牧野駿 | 1,977 | 1.65 |
| 日本生命保険相互会社 | 1,760 | 1.47 |

(千株未満切捨て)

(注) 当社は自己株式を5,312千株(4.43%)所有しておりますが、上記には含めておりません。

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.makino.co.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元未満株式の買取請求（当社へのご売却）のご案内

当社の単元未満株式（1,000株未満の株式）をご所有の株主様は、この単元未満株式を当社に対し売却すること（買取請求）が可能となっております。

単元未満株式の買取りを希望される株主様は、次の口座管理機関にお申出ください。

- ・ 株主様が証券会社等に口座を開設し、株式をお預けになっている場合は、その口座開設先にお申出ください。
- ・ このほか、特別口座が開設されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください（連絡先は株主メモの項目をご参照ください）。

株式会社 牧野フライス製作所

本社 〒152-8578 東京都目黒区中根2-3-19

電話 03 (3717) 1151(代)

ホームページ <http://www.makino.co.jp/>

